

直売所運営について意見交換

もぎたて朝市会視察研修実施

八月八日、もぎたて朝市会（福岡隆子会長 会員一〇名）では、ＪＡひだか東女性部主催「朝もぎ野菜市」の視察研修を実施しました。今回、視察研修を行った「朝もぎ野菜市」では、浦河町堺町のＡコープ店舗後を利用しています。

当日は、販売開始時刻の午前一一時前から多くのお客様たちが、入り口前で販売開始を今や遅しと心待ちにし、販売開始後にも続々とお客様が詰めかけ、大変な賑わいをみせていました。

また、野菜市終了後には、ＪＡひだか東女性部本巢隆子部長から、野菜市の運営方法や今後の方針などについて話をしてもらい、会員たちもときおり質問をしながら、本巢部長の話に聞き入っていました。

もぎたて朝市会では、地元の人たちに「より良い野菜を届けたい」、「もっと美味しい野菜を食べてもらいたい」との考えから、このような視察研修を毎年行っています。本視察研修でも新たな交流や発見があり、会員たちにとって、大変有意義なものとなりました。



直接質問ができるのも直売の良さです。



本巢部長からも色々な話を伺いました。

生育はおおむね順調

静内稲作振興会現地視察研修会実施

九月九日、静内稲作振興会では、生産者や消費者協会会員など関係機関からの参加者二四名で、現地視察研修会を行いました。

本研修会は、毎年恒例となっているものであり、刈り取りの直前となるこの時期、会員の水田を巡回し、生育状況や実の入りなど今年の出来秋を確認します。

また、消費者協会の会員に参加してもらうことにより、生産者との交流や実際に生産の現場を視察してもらい、「安全・安心」な静内産米を強くPRする場ともなっています。

この日視察を行ったのは、東別地区の杉山富吉氏、西川地区の塚田隆博氏、豊畑地区の日蔭由昭氏、帰山薫氏、(株)豊穂、本沢地区の姥谷秀樹氏の水田を視察。今年は、天候不順の影響から出来秋が心配されていましたが、どの水田も多少の差はあるものの生育は至って順調。その中には、北海道の新ブランド米として期待されている「ゆめぴりか」もあり、一〇月中旬まで大きな楽しみのある刈り取りが続きます。



実の入りなど今年の出来秋を確認中！



これが噂の「ゆめぴりか」